

Re Earth casita

—地球を再生する家—



アウトライン

1. 会社概要
2. サービス概要
3. サービスの特徴（エコな理由）
4. ビジネスモデル
5. 環境貢献価値
6. 今後の展望
→進化する賃貸戸建て住宅のPKG



会社概要

ハチドリソーラー株式会社（ボーダレスグループ）

「ソーシャルビジネスしかやらない共同事業体」で世界15か国で46事業を展開する株式会社ボーダレス・ジャパンから生まれたソーシャルベンチャー。

MISSION

エネルギー自給率、再エネ比率が低いことで主電源を火力発電に頼った日本のエネルギーを「自然エネルギーが主電源となる社会」にリモデルする。

SERVICE

日本全国で初期費用0円の太陽光リースサービス「ハチドリソーラー」を展開

ボーダレスグループ 世界15カ国46社を展開

オーガニックハーブで
貧困農家の収入をアップする
「AMOMA natural care」



偏見のない世界を作る
多国籍コミュニティハウス「ボ
ーダレスハウス」



バングラデシュに雇用を作る
ビジネス革製品「ビジネスレザーファクトリー」



会社概要



ラクラス株式会社

金沢市を拠点に、県内の注文住宅の設計/施工を行うハウスメーカー

親会社＝木材商社：家を支える「資材」の品質にこだわることが可能

～コンセプト～

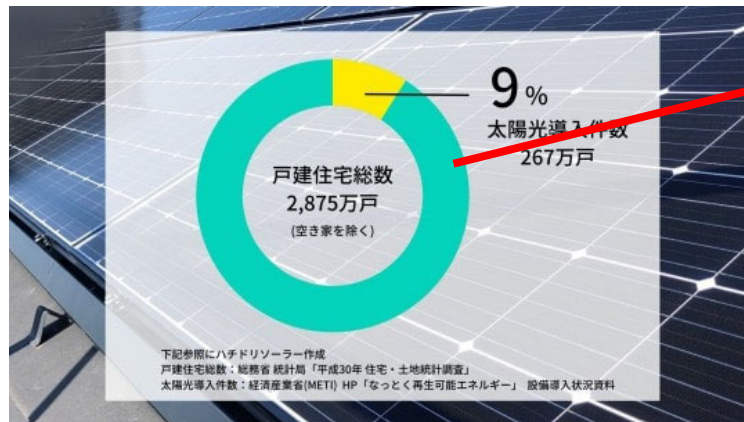
『家も、家族。』 営業/設計/施工のoneチームで、お客様の想いを形にします

～特徴～

- 建築家との家づくり → お客様の想いを理解した上で、本当に住みやすい家をご提供します
- 職人を社員として据え、「自社一貫施工」が行える体制を整えています
- 年間6棟ほどの建築数 → 工期等に囚われず、お客様とじっくりと向き合うことが可能です

取り組みに込めた思い

住宅太陽光の低すぎる普及率



賃貸戸建ては3万戸以上のポテンシャルがある

太陽光が設置できるのは
「持ち家オーナー」
であることが必須条件だった

持ち家でなく賃貸でも環境に優しい住宅を
「消費者自ら選択できることが大切なのではないか？」

取り組みに込めた思い



「賃貸で暮らす人が自然エネルギーを選択できる建物を提供したい」



「環境負荷最小限に自然エネルギーを増やしていきたい」

サービス概要①

物件名 : Re Earth casita Yokaichi

オーナー企業 : ラクラス株式会社

サービス提供事業者 : ハチドリソーラー株式会社 (ボーダレスグループ)

物件所在地 : 石川県金沢市八日市

物件賃料 : 13万円/月





サービス概要②

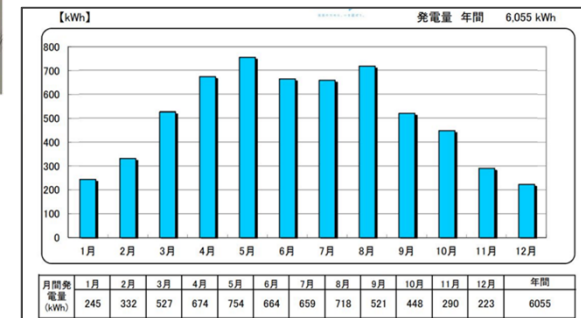
Re Earth casita Yokaichi

—地球を再生する家—



↑
長州産業株式会社製
太陽光発電システム

システム容量：5.96kW（枚数：21枚）
年間発電量：6,055kWh（月間発電量：504kWh）
電気代削減効果：64,320円/年（月間：5,360円）



「太陽光発電システム搭載型賃貸住宅」

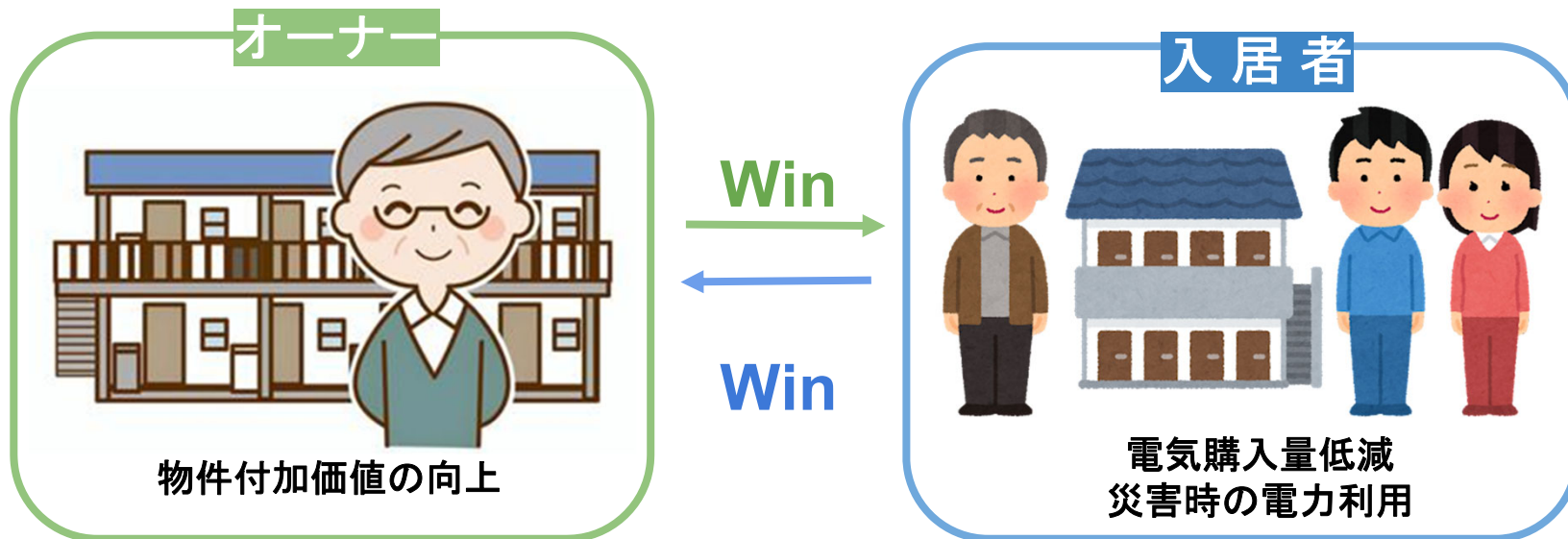
入居者が太陽光発電によって創られた電気を自由に使うことができ、売電収入は家賃から割引を行うサステナブルな賃貸戸建住宅。

横展開を前提にして「Re Earth casita」＋地域名の看板を設置しており、全国的な賃貸戸建のスタンダードを目指す。

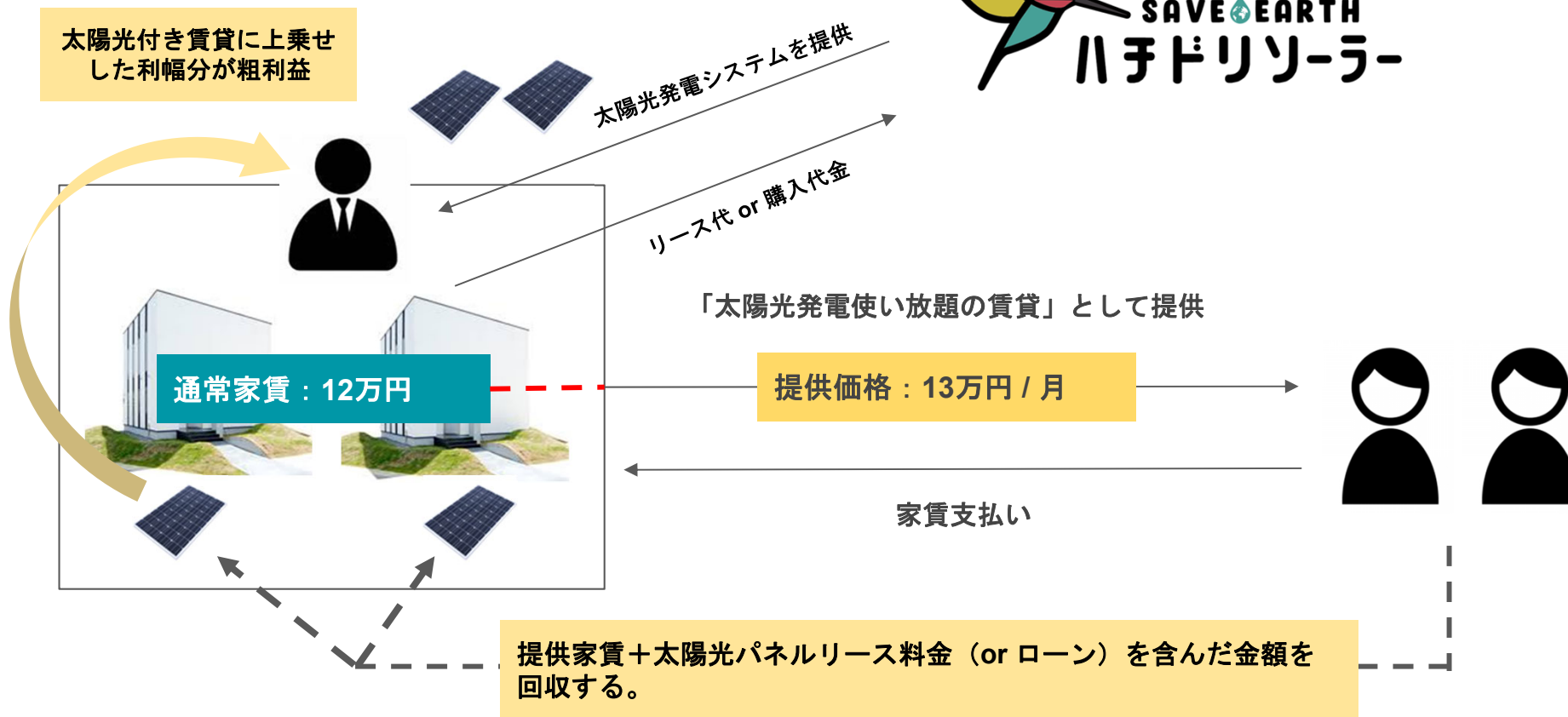


サービスの特徴

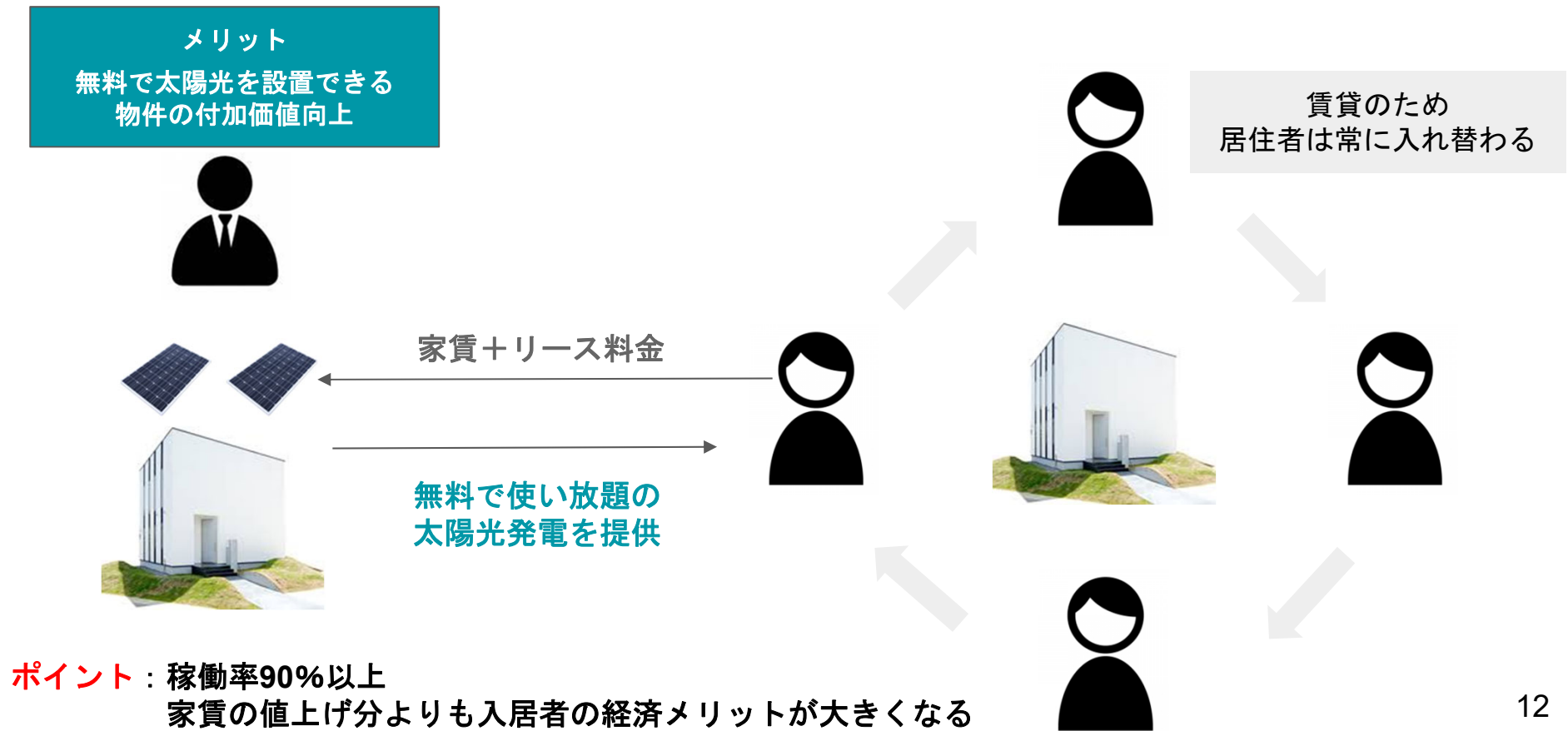
- ❖ 太陽光付き賃貸住宅
- ❖ 発電した電気は入居者が使い放題
- ❖ 余った電気は売電して家賃から割引



ビジネスモデル



ビジネスモデル



環境貢献価値

Re Earth casita1軒あたりの環境貢献価値

推定CO2削減効果

年間削減効果

CO2削減量	3.1	t
植林効果	84	本

30年間太陽光パネルを使い続けると.....

CO2削減量	94t	>>>	東京ドーム	4.9個分の
植林効果	2520本			植林効果!



八日市の2棟のRe Earth casitaで

年間で**6t 以上**のCO2を削減



30年間で約**200t の**CO2を削減

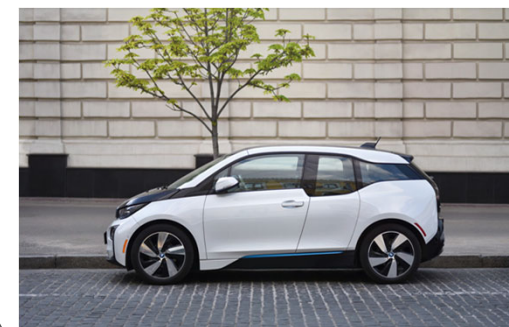
今後のさらなる展望

多様な生活スタイルに合わせて、太陽光発電だけでなく、蓄電システム・V2Hシステムを搭載した戸建賃貸パッケージプランを展開する

災害時でも安心の蓄電池



電気自動車と家を繋ぐV2H

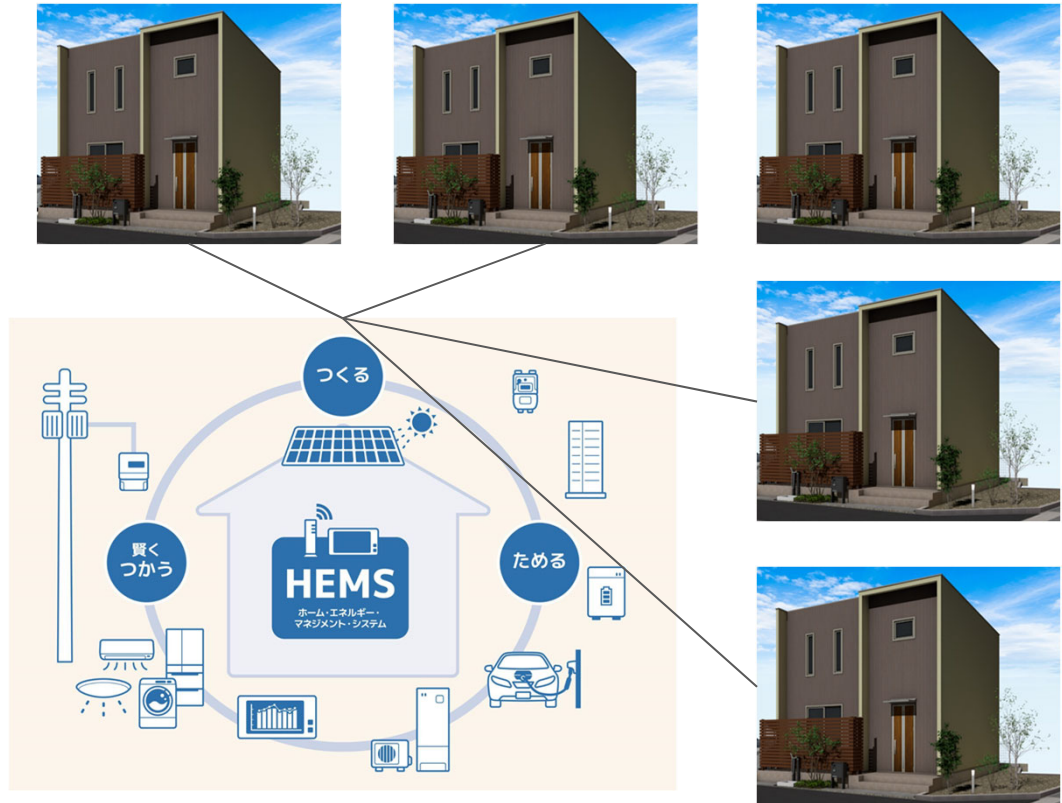


今後のさらなる展望

HEMSを活用し、Re Eearth casita の電気を最適化し、再エネ活用×エネルギーマネジメント技術を駆使した「省エネ賃貸住宅」に。



需給データの管理も可能になるため、日中の電気を蓄電池や電気自動車に貯めて、夜間に活用していくことで完全自家消費を実現する賃貸戸建住宅を実現します。



■ 今後のさらなる展望

賃貸でも消費者が自然エネルギーを
当たり前を選択できる社会を目指していきます